

# 小規模企業景気動向調査

[平成29年5月期調査]

～4ヶ月連続で改善を示すも、回復のペースが緩やかな小規模企業景況～

2017年6月27日  
全国商工会連合会

## ＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## ＜産業全体＞ ◇…4ヶ月連続で改善を示すも、回復のペースが緩やかな小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに改善した。項目別では、売上額DI、採算DI、資金繰りDIはいずれもわずかな改善に留まった。4ヶ月連続して改善を示すものの、そのペースは緩やかとなっている。経営指導員からは、大型連休により観光客が増加し、一部の観光関連産業で活況を呈しているとの報告がある一方で、集客力が乏しく観光客増の恩恵を受けられない地域や高齢化等により消費人口が減少している地域では、業種を問わず低迷しているとの報告があった。

## ＜製造業＞ ◇…一部の製造業で好調であるものの、原材料高と人手不足により利益が圧迫される製造業…◇

製造業の業況DIと売上額DIは、先月とほぼ不変であった一方で、採算DIと資金繰りDIはわずかに悪化した。経営指導員からは、食料品関連の製造業の売上は順調に推移し、一部の金属製品製造業では受注量が確保されて好調を示している一方で、原材料高と人手不足により利益が圧迫されているとの報告があった。また、輸送用機械器具製造業では、仕事量が増えてきているものの、それに見合った人員が確保できないなど、人手不足の問題は業種を問わず深刻化している。

## ＜建設業＞ ◇…仕事量は安定するものの、仕入価格上昇や工事単価の改善が見られず収益確保が難しい建設業…◇

建設業の業況DIは、わずかな改善に留まった。売上額DIは不変であったが、採算DIは小幅な改善、資金繰りDIはわずかに改善した。また、公共工事・民間工事を問わず受注量は安定しているとの報告があった。一方で、型枠、鳶、鉄筋業等の職別工事業の人手不足が顕著となっている。さらには、セメントやアスファルト等の原材料の仕入価格の上昇や社会保険料も含めた人件費の上昇に対して工事単価の改善が見られないため、稼働率の割には収益の確保が難しいとの報告があった。

## ＜小売業＞ ◇…一部商品で改善傾向が見られたが、人手不足等により先行き不安な小売業…◇

小売業の業況DIは、4ヶ月連続でわずかに改善した。売上額DIと採算DIはわずかな改善に留まったものの、資金繰りDIは小幅に改善した。家電の買替需要や食料品小売業を中心に改善傾向が見られたが、大型小売店の出店攻勢は衰えを知らず、チェーン店間においても競争が激化しており、厳しく環境にさらされている。小売業全般では、依然として客数の減少傾向が続いているとともに、人手不足が深刻であるとの報告があった。

## ＜サービス業＞ ◇…GW特需の恩恵を受ける業種があるも、業界全体の回復は程遠いサービス業…◇

サービス業の業況DIは、4ヶ月連続で改善し、改善幅はわずかに留まった。項目別に見ると、売上額DI、採算DI、資金繰りDIのいずれもわずかに改善した。経営指導員からは、連休のみならず、外国人観光客、修学旅行者や合宿客を誘致につなげているところは安定した売上を確保しているとの報告があった一方で、GW特需とは無縁な地域では、反対に消費者が市外に流出し景況感が芳しくないとの声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 13.4	▲ 12.9	0.5	▲ 8.6	▲ 8.5	0.1	▲ 7.8	▲ 7.2	0.6
採算	▲ 17.4	▲ 15.9	1.5	▲ 14.1	▲ 14.6	▲ 0.5	▲ 15.4	▲ 12.2	3.2
資金繰り	▲ 13.4	▲ 11.9	1.5	▲ 10.3	▲ 10.9	▲ 0.6	▲ 12.5	▲ 10.7	1.8
業況	▲ 17.0	▲ 16.0	1.0	▲ 13.1	▲ 13.2	▲ 0.1	▲ 11.9	▲ 10.5	1.4

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 25.2	▲ 24.5	0.7	▲ 12.3	▲ 11.7	0.6
採算	▲ 27.2	▲ 25.5	1.7	▲ 13.1	▲ 11.5	1.6
資金繰り	▲ 20.0	▲ 16.7	3.3	▲ 10.6	▲ 9.0	1.6
業況	▲ 28.4	▲ 27.0	1.4	▲ 14.7	▲ 13.2	1.5

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

## 小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・春となりGW等の観光シーズンや建築業等も新築工事等の受注も入ってきている状況である。  
(福島県北塩原村商工会)

・観光客数は過去最高を継続しており地域内事業所も好況を維持している。  
(広島県宮島町商工会)

・ゴールデンウィークの観光客入込客数が増加傾向、縄文杉往路客数も前年比107.9%と登山客も増加しており、宿泊業、飲食業など観光関連産業は好況となっている。  
(鹿児島県屋久島町商工会)

・地域の経済状況は全般的に停滞感が感じられるが、サービス業(旅館業・貸切バス)については、春先以降の観光シーズンに入り、島外からの観光客が増加しており期待できる。  
(長崎県新上五島町商工会)

・南城市では近年の活発な都市開発の影響により、都市部からのベットタウンとしての認知度・利便性が向上し人口が増加傾向にある。これに伴い創業相談件数も増え、公庫及び県制度融資を活用した創業者資金のニーズ、貸出実績が過去最高を記録している。  
(沖縄県南城市商工会)

・地域動向として創業者が年度初めから例年ないほど急速に増加している。また金融機関の貸出状況について前月よりもやや増加傾向にある。  
(秋田県かづの商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・食品製造業、小売業、及びサービス業について、原発事故後、田植えやこどもの日の行事開催が減っていることに起因して季節商品の売上が減少し続けており、地区の集まり・呑み会が無くなった事から飲食店売上も下がっている。  
(福島県鹿島商工会)

・通信機器やキューピクル関連の製造業は受注は確保しておりますが、受注単価が厳しく採算性は厳しい現状にあります。飲食業界は家飲みが増えており業界全体として売上は減少傾向にあります。  
(山形県南陽市商工会)

・店舗設備について老朽化が見られる店舗があるが、設備投資にける費用がなく厳しい状況にあるところが多い。  
(神奈川県伊勢原市商工会)

・プレミアムフライデー等の国の政策の効果も感じる事無く、全体的に景気が少しずつ悪化している。来年度よりキッズウィークを導入する話もあるが、しっかりと計画をしなければ、休日を利用した国民の消費喚起に繋げることは難しいのではないと思う。町が今年度より始めた金融機関の借入にかかる補助制度が少しずつ走り始めているため、事業者の今後の利用状況が注目される。  
(高知県黒潮町商工会)

・佐伯市の山間部に位置する当地区は、市の人口統計によると高齢化率が50%に迫る勢いであり、人口減少とともに小規模事業者の廃業が続いている。一方、木材需要の高まりにより、林業関連の創業や従業員の雇用が生まれつつある。  
(大分県佐伯市番匠商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・金属加工関連の製造業は、仕入材料の価格が高騰しているが、受注は増えているので、売り上げは増加している。  
(神奈川県伊勢原市商工会)

・自動車関連・金属関連の製造業の受注量は確保されていて引き続き好調を維持している。  
(長野県佐久市望月商工会)

・食料品関連の製造業の売上は順調に推移している。人手不足の影響もあり、補助金を活用した新生産設備の導入を図る事業所も増えている。  
(沖縄県南城市商工会)

・窯業関連の製造業は、比較的落ち着きを取り戻している。関連する窯業小売が中央あるいは海外市場への動きも一部ある様子。  
(佐賀県嬉野市商工会)

・木材単価の上昇により、製材加工業は売上を伸ばしている。市外の工務店と新たな取引を始めた業者もいる。  
(大分県佐伯市番匠商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・食品関連の製造業については依然として人材不足等もあり、受注数・売上については大きな変動はないものの、原材料の高騰等により利益の圧迫がありさらなる生産性の向上が求められているが設備投資にまで踏み切る余力はない状況となっている。  
(宮城県本吉唐桑商工会)

・自動車関連の製造業は、仕事量が増えており自社で受けられず断っている会社もある。採用も検討しているが、なかなか応募がない状況。  
(静岡県新居町商工会)

・仕入額の高騰、経費の上昇により収益に影響している。特に食料品では来期の見通しが立てづらい。繊維、機械・金属は下請契約が多く、変動は少ない。  
(栃木県那須町商工会)

・機械・金属関連の製造業では、今年いっぱいの受注をもっている会社もあるが、支払いサイトが長くなっているため、資金繰りに窮している面もある。  
(愛媛県西予市商工会)

・売上が下がっている。理由としては新茶離れが大きい。新茶を求めている人が減っている。  
また、仕入単価が上がっている。理由としては、大手のペットボトルに使う茶葉を取り合っているのと、土山茶の生産量が減少しているためと思われる。

(滋賀県甲賀市商工会)

・経節製造関連では、原料になる冷凍カツオの値段が昨年に比べキロ80円上がったため、製造コストが上昇し、利益を圧迫しかねないとの懸念を抱えている。

(鹿児島県南九州市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・雪により建築事業を行うことが出来なかったが、一部の建築業者は新築工事等の受注も入ってきている状況となってきた。

(福島県北塩原村商工会)

・比較的良好な業況のようであり、特に土木関連は公共工事を軸に受注がある様子。建築関連も個人住宅受注もコンスタントに入っている。但し、今後も同様な流れであるかは疑問符が付き、慎重に動向の推移を見守る必要がある。

(福岡県鞍手町商工会)

・復興関連建設業は依然として高い受注量・売上も安定している。現在では仮設住宅の取り壊し等の工事受注も多く、災害公営住宅への被災者の移転が進んでおり、需要のひと段落が見受けられ今後の需要の減少が課題とな

(宮城県本吉唐桑商工会)

・原材料の仕入れ価格の上昇はあるものの、受注は継続しており少なからず好況とみられる。

(栃木県小山市美田商工会)

・屋根板金、外構関係は、上昇している。

(埼玉県吉見町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・木造建築関連の建設業は、新築受注も一定量あり好調水準であるものの、職人不足により売上の増加には至っていない状況。また、消費増税に向けて新築受注が減少する見込みなどの懸念を感じる事業者が多くなってきてい

(鳥取県米子日吉津商工会)

・住宅関連が好調。職人の確保が業界全体の課題となっている。「仕事は取れるが、回せない」との声を頻繁にきくようになった。材料費が上昇傾向にある。

(福岡県筑前町商工会)

・建設業全般の業況は回復傾向にあるが、社会保険料の上乗せ部分の予算が下請け事業者まで適正に転嫁されていない傾向にある。また、依然若手労働者が不足している。

(茨城県取手市商工会)

・住宅関連建築業は、着工件数が増加傾向にあり、反して人手不足により工期進捗管理に苦慮されている模様。

(佐賀県嬉野市商工会)

・建築、鉄骨、内装を含め、受注が少しずつ増加し、稼働率が上がってきている事業所が増えてきたが、下請けの工事単価の増加が見られないため稼働の割には収入増の実感が薄い。

(長崎県三重商工会)

・土木建設業：県の公共工事予算が大幅減。町公共事業予算は昨年並みだが材料高により実質減。建築業：新築工事は減っており利益元の増改築工事が激減。厳しい状況にある。

(三重県紀宝町商工会)

・特に型枠、鳶、鉄筋業においては、人手不足が顕著になっている。

(沖縄県うるま市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・自動車販売、特に中古車販売は販売数が新年度に入って伸びている。

(埼玉県宮代町商工会)

・ゴールデンウィークは分散型であったが晴天に恵まれ客の出足は好調であった。昨年は天候に恵まれず人の出足は天候に左右されることを実感。

(石川県宝達志水町商工会)

・家電販売では、エアコンや冷蔵庫など省エネタイプへの買替需要が見られ、売り上げは若干伸びている。

(長崎県対馬市商工会)

・従来の魚卸売事業は入札などの影響で不安定ではあるが昨年からはじめた自社製漬魚の小売事業が好調と言える。総合的には売上、利益ともに昨年と比較して変わっておらず、プラスに考えられる状態にはある。

(埼玉県東松山市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・全体的に需要は落ち込んでいる状況。デフレ基調も顕在化しており、大型ディスカウント店への消費者の流れが加速しているように感じる。後継者不足も追い打ちをかけ、廃業する事業者も散見される。

(福岡県鞍手町商工会)

・食料品関連の小売業では、近隣のコンビニエンスストアが近年で3倍近くに増加。競争が激化する中、消費者の分散などが見られ、好転には至っていない。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・衣服関連の小売業は、天候が変わりやすく、季節ものの品ぞろえが用意できていないところがある。

(奈良県平群町商工会)

・小売業全般において、商圈人口の減少と高齢化による需要減の影響が大きく、業況は非常に厳しい。

(鳥根県石中央商工会)

・ロードサイドに大型店舗がいくつも出店し、地元のショッピングモールや小売店が、売上減など広範囲に影響を受けている。酒類販売店も売上が減少している。

(滋賀県愛荘町商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

- ・今月はGWIにより観光客が来られた為、観光関連事業所の売上が伸びている状況となっている。  
(福島県北塩原村商工会)
- ・総会等の会合の多い時期だったので、旅館等の稼働率が高かった。  
(愛知県小原商工会)
- ・宿泊関連のサービス業は、インバウンドの増加によって、数カ月先まで予約が埋まっているところもあり、好調である。  
(長野県南木曾商工会)
- ・ホテル宿泊業の動向は、海外観光客の受け入れもあり稼働状況はまずまず。地域内の飲食業への影響も多少の効果もあるようす。  
(佐賀県嬉野市商工会)
- ・飲食関係のサービス業は地域密着型店舗は不変であるが、業況は良い。知識等を要するサービス業は売り上げを伸ばしている傾向にある。  
(長野県信濃町商工会)
- ・韓国人を中心に外国人観光客の来島は堅調に増加しており、今後も伸びると予想されている。この増加する外国人観光客に対応するために、ホテルや民宿の新設・増設の計画が6件程度上がっている。  
(長崎県対馬市商工会)
- ・行政や地域をあげて修学旅行や合宿の誘致を展開しており、団体客を中心に安定した宿泊客を獲得しており、客数、売上げともに微増である。  
(千葉県南房総市内房商工会)

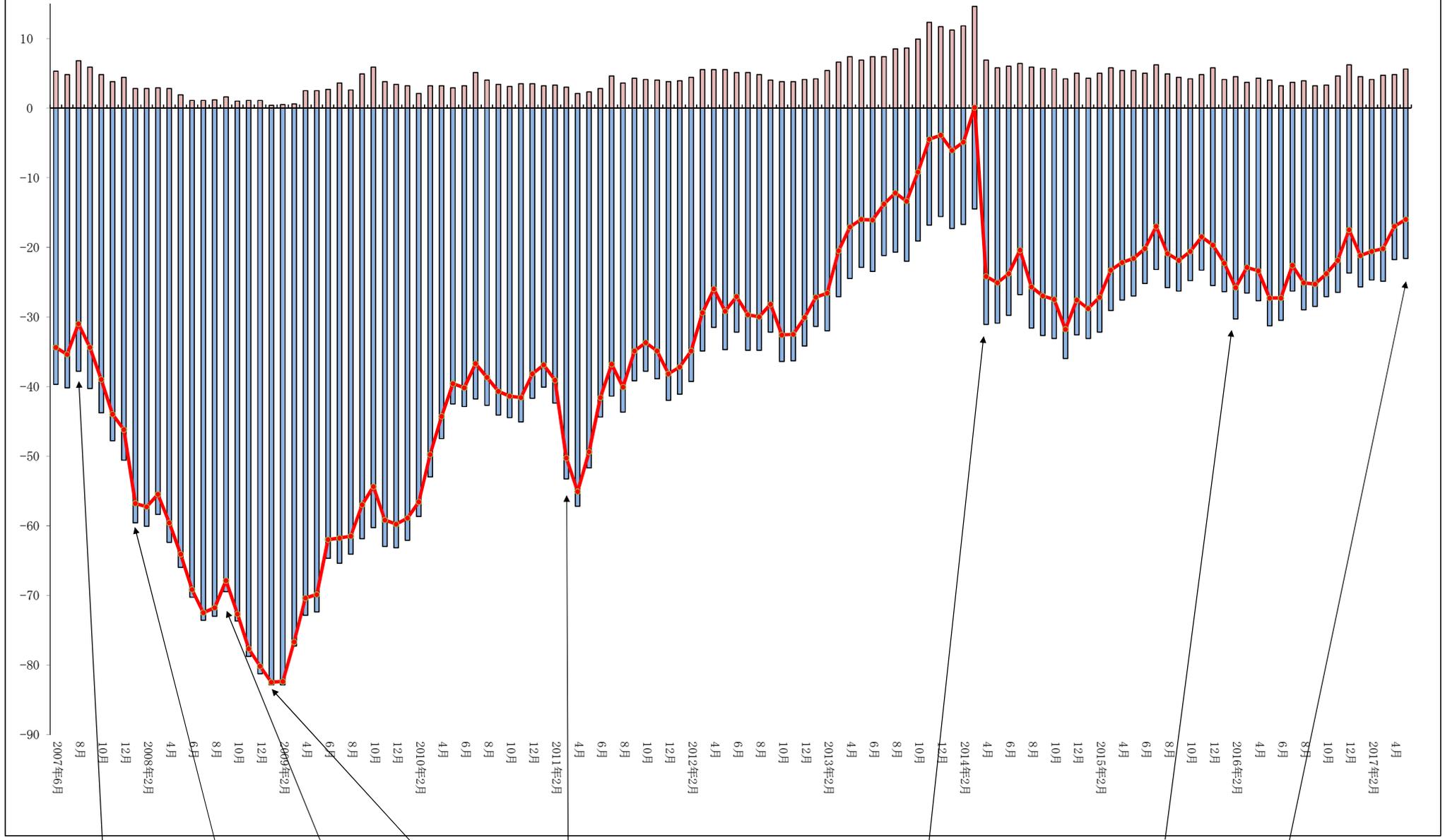
### <悪化傾向を示すコメント>

- ・当地域は観光地であり宿泊関連業者が多いが観光客の減少に歯止めかからず需要は低迷。  
(岡山県瀬戸内市商工会)
- ・IT関連、派遣業などで、スキルのある人材が不足し、売上拡大を阻害する要因となっている。  
(滋賀県野洲市商工会)
- ・生活衛生関連のサービス業のうち美容業者は、競合他社が多いため業況は厳しい。一方で、この業況から脱するために都心部への通勤客に対応するため営業時間を長期化して対応している。  
(茨城県取手市商工会)
- ・ゴールデンウィーク特需は見られず、寧ろ消費の市外流出が見られ、5月の景況感は芳しくない。  
(東京都国立市商工会)
- ・理容業関連のサービス業は、人口は減少しているにも拘らず、新規オープン(30歳代の起業者が一番多い)の事業所が増えている(愛媛県下)。反面、後継者がいないこともあり、廃業も続出している状況にあり、プラスマイナスゼロ  
(愛媛県長浜町商工会)

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



07年8月9日  
BNPパリバ、傘下の3ファ  
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日  
NY原油先物初  
の100ドル突破

08年09月15日  
リーマン破産  
法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

17年/5月  
-16.0